

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【182】
2. 日時：令和4年5月23日 13時30分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他8名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（主排気ダクトの耐震性についての計算書等）について、令和4年5月17日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【主排気ダクトの耐震性についての計算書】

- 主排気ダクトについて、その寸法等の諸元及び最小裕度部位を説明すること。
- 主排気ダクトの耐震評価法について、「VI-2-1-13 ダクト及び支持構造物の耐震計算について」に記載の評価法との相違点及びその理由を説明すること。
- 主排気ダクトについて、2号機排気筒、SGTS 排気筒等との位置関係を詳細に説明すること。
- 主排気ダクトの2号機排気筒への波及的影響の評価について、評価部位の選定理由を説明すること。
- 主排気ダクトについて、角ダクトと丸ダクトでは耐震評価法が異なる

ため、概略構造図において、それぞれの範囲を説明すること。

- 支持構造物の拘束条件について、解析モデルへの反映方法を説明すること。
- 主排気ダクト及び支持構造物解析モデルについて、ダクトの曲がり部及び分岐部の構造、支持構造物（支持装置）の部材の接合方法及びモデル化方法を説明すること。
- 支持構造物の耐震性評価について、基礎ボルトの評価結果を説明すること。
- 解析モデルにおけるダクトの剛性について、具体的な算出方法を説明すること。
- 丸ダクトの許容座屈曲げモーメントの設定について、メーカーにて設定した安全率を用いる妥当性を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし